

「水辺の環境活動プラットフォーム」に会員登録いただきありがとうございます。

環境省では、水辺・海辺について、これまでの「保全」に加え、「活用」の観点も重視した新たな政策を進めています。

本プラットフォームでは、良好な水環境等の保全・活用に関する行政・企業・団体の様々な情報を月1回程度メールマガジンでお届けします。

また、環境省環境創造室では「公式SNS（Facebook、X、Instagram）」を運営しています！🌈 公式SNSでは、良好な環境に関することや環境創造室が取り組んでいる業務等をより身近に、タイムリーにお届けしていきますので、ぜひフォローをお願いします！

---*◆水辺の環境活動PFメールマガジン*◆◇第16号*◇*-----

- 【1】 会員のイベント・交流掲示板・会員取組情報をご紹介します！《会員情報》
- 【2】 令和8年度良好な環境の創出・活用推進事業の新規実施団体が決定しました！《事務局》
- 【3】 「令和7年度 令和の名水づくり・里海づくり地域支援事業」の北海道、東北、近畿事務所の実施団体が決定しました！《事務局》
- 【4】 令和7年度の事業成果として作成したモデルコース・体験プログラム（概要資料）をご紹介します！《事務局》
- 【5】 「ネイチャーポジティブ経済移行に向けた企業価値向上ストーリー集」の公表について掲載しました！《環境省》
- 【6】 令和8年度ウェルビーイングな観光地域づくりに向けたポイ捨てごみ発生抑制・観光コンテンツ化推進モデル事業における実施団体の募集について《環境省》
- 【7】 令和8年度ローカル・ブルー・オーシャン・ネットワーク推進事業におけるモデル実施団体の募集について《環境省》
- 【8】 ネイチャーポジティブ推進のための化学物質管理アクションプラン Ver.1.0の公表について掲載しました！《環境省》
- 【9】 第3次気候変動影響評価報告書の公表について掲載しました！《環境省》
- 【10】 林地における水資源涵養量の簡易評価手法を公表しました！《林野庁》
- 【11】 水源の森百選ウェブサイトのリニューアルを行いました！《林野庁》
- 【12】 第48回「全日本中学生水の作文コンクール」の募集中です！《内閣官房水循環政策本部》
- 【13】 水循環に関するパネル・映像展示セットが全国を巡回！（令和8年度）《内閣官房水循環政策本部事務局》
- 【14】 『水循環企業登録・認証制度』について、広報コンテンツを作成しました。《内閣官房水循環政策本部事務局》

【1】 会員のイベント・交流掲示板・会員取組情報をご紹介します！

《会員のイベント [NEW] 》

・2026年5月10日（日）幕張の浜ビーチクリーン《Aqua Dream Project》

▽詳細はこちら

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/detail?record=110082.28>

[↓プラットフォーム会員のイベント一覧はこちらから]

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/>

《交流掲示板》

[↓プラットフォーム会員の交流掲示板一覧はこちらから]
<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/community>

【2】令和8年度良好な環境の創出・活用推進事業の新規実施団体が決定しました！

「水環境保全・活用モデル事業」及び「戦略的『令和の里海づくり』基盤構築支援事業」における新規実施団体を選定しました！！

※「良好な環境を活用した観光モデル事業」の実施団体については、現在選定作業中であり、決定次第、別途公表いたします。

▽詳細はこちら

https://www.env.go.jp/press/press_04155.html

【3】「令和7年度 令和の名水づくり・里海づくり地域支援事業」北海道、東北、近畿事務所の実施団体が決定しました！

各地方環境事務所において、『令和7年度 令和の名水づくり・里海づくり地域支援事業』を公募しておりましたが、以下の事務所では実施団体が決まりましたので、お知らせします。（他の地方環境事務所では、選定中であり、決定次第お知らせします。）

・北海道地方環境事務所：

有限会社 知床ダイビング企画、洞爺湖生物多様性保全協議会、特定非営利活動法人シマフクロウエイド、シマフクロウ環境研究会

https://hokkaido.env.go.jp/press_00152.html

・東北地方環境事務所：

一般社団法人はまのね、一般社団法人登米市観光物産協会

https://tohoku.env.go.jp/topics_00054.html

・近畿地方環境事務所：

ONE SLASH 株式会社、公益財団法人吉野川紀の川源流物語、一般社団法人Local Coop大和高原

https://kinki.env.go.jp/topics_00231.html

【4】令和7年度の事業成果として作成したモデルコース・体験プログラム（概要資料）を紹介します！

環境省では、地域で大事にされてきた「良好な環境」を活用したリジェネラティブな観光地域づくりを通して、得られた資本を「良好な環境」の更なる創出や維持管理に繋げて保全と活用の好循環を達成し、地域のウェルビーイングや魅力度の向上、地域活性化を実現するためのモデル事業を実施しています。

▽詳細はこちら

https://policies.env.go.jp/water/good-environment-tourism/assets/pdf/2025_model_course_overview.pdf

【5】ネイチャーポジティブ経済移行に向けた企業価値向上ストーリー集」の公表について

環境省では、2024年3月に策定した「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」及び「ネイチャーポジティブ経済移行戦略ロードマップ（2025-2030年）」に基づき、ネイチャーポジティブの取組が、企業にとって単なるコストアップではなく、自然資本に根ざした経済の新たな成長につながることを目指し、企業のネイチャーポジティブ経営（※1）への移行支援をはじめとした各種施策を展開しています。

ネイチャーポジティブ経営の確立・浸透に当たっては、ネイチャーポジティブ経営と事業

機会との関係やどのように企業価値向上につながっているかが不明瞭であるという課題が指摘されています。

これに応えるため、今般「ネイチャーポジティブ経済移行に向けた企業価値向上ストーリー集」を作成しました。

自然資本を持続可能に活用するビジネスの取組が企業価値向上に資することを示すことを目的とし、先行企業の事例の共有を通じて、ネイチャーポジティブ経営の確立と社会への浸透を推進してまいります。

※1：自社の価値創造プロセスにおいて自然の保全の概念をマテリアリティ（重要課題）として位置付けた経営

▽詳細はこちら

https://www.env.go.jp/press/press_03812.html

【6】令和8年度ウェルビーイングな観光地域づくりに向けたポイ捨てごみ発生抑制・観光コンテンツ化推進モデル事業における実施団体の募集について

環境省では、インバウンド対応を主眼に、観光地でのポイ捨て防止、ごみの発生抑制や海洋ごみ等を活用した観光コンテンツ化をより一層進めるためモデル事業を実施します。

本事業は、モデルとなる取組を環境省と共に作り上げ、その成果を発信等することにより、他地域への展開を進め、国内の観光地における魅力やウェルビーイングの向上を目指すものです。

本モデル事業を実施する団体等を、令和8年3月30日（月）から同年4月28日（火）まで募集します。

▽詳細は環境省ホームページをご確認ください。

https://www.env.go.jp/press/press_03455.html

【7】令和8年度ローカル・ブルー・オーシャン・ネットワーク推進事業におけるモデル実施団体の募集について

環境省では、自治体と企業等の連携による自走性ある取組の実証を支援し、海洋ごみの回収・発生抑制対策の実効性を高め、持続可能な取組とするためのモデル事業を実施します。

本事業は、海洋ごみ対策のモデルとなる取組を環境省と共に作り上げ、その成果を発信等することにより、他地域への展開を進め、国内における海洋ごみ対策の一層の推進を図ることを目指すものです。

本モデル事業を実施する団体等を、令和8年3月30日（月）から同年4月28日（火）まで募集します。

▽詳細は環境省ホームページをご確認ください。

https://www.env.go.jp/press/press_03453.html

【8】ネイチャーポジティブ推進のための化学物質管理アクションプラン Ver.1.0の公表について掲載しました！

環境省は、化学物質管理を通じてネイチャーポジティブ（生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること）の実現に貢献するため、「ネイチャーポジティブ推進のための化学物質管理アクションプラン Ver.1.0」を策定し、公表しました。

本プランは、調査・研究やモニタリング、関連主体による取組・連携強化等の6つの観点から、今後の取組の方向性を体系的に整理したものです。

▽詳細はこちら

https://www.env.go.jp/press/press_03786.html

【9】第3次気候変動影響評価報告書の公表について掲載しました！

環境省では、令和8年2月16日（月）、気候変動適応法に基づき、気候変動が私たちの健康や生活等に与える様々な影響を評価した「第3次気候変動影響評価報告書」を公表しましたのでお知らせいたします。

◆第3次気候変動影響評価報告書の概要◆

気候変動影響評価報告書は、最新の科学的知見を踏まえ、農業・林業・水産業、水環境・水資源、自然生態系、自然災害・沿岸域、健康、産業・経済活動、国民生活・都市生活の7つの対象分野を細分化した80の項目ごとに、重大性、緊急性、確信度の3つの観点から気候変動の影響を評価しています。

本報告書では、どのような気候変動影響が科学論文などで指摘されているかについても幅広く取りまとめております。例えば、次のような気候変動による影響が掲載されています。

- 農業・林業・水産業分野：米の収量や品質の低下、リンゴ等の着色不良
- 自然生態系分野：サンゴの白化現象の頻度増加
- 自然災害・沿岸域分野：洪水の発生地点数の増加
- 健康分野：熱中症による救急搬送者数・死亡者数の増加
- 国民生活・都市生活分野：大雨・台風等による電気・ガス・水道・通信の寸断

環境省では、国民の皆様だけでなく、都道府県・市町村等や民間企業が気候変動影響に対する対策を講じる際にも、本報告書の内容を参考にさせていただきたいと考えています。

本報告書では、より多くの人に気候変動影響を身近なものとして知っていただくため、気候変動影響の例をスライド形式で分かりやすく整理した「概要版」も作成しています。

まずは、「概要版」などを通じて、気候変動の影響がすでに身の回りで生じていること等を知っていただければと思います。

ご不明な点等がございましたら、下記URLまでお気軽にお問い合わせください。

▽詳細は環境省ホームページをご確認ください。

https://www.env.go.jp/press/press_02915.html

【10】林地における水資源涵養量の簡易評価手法を公表しました！

森林には、二酸化炭素吸収や生物多様性保全に加えて、洪水の緩和や水資源の貯留、水質の浄化などの水源涵養機能があります。

水源涵養機能のうち、雨水を土壤に蓄え、時間をかけて安定的に河川へ戻す「水資源の貯留」という働きについて、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）等の国際的な動きの中で客観的な数値で把握したいというニーズが高まっています。

他方で、この働きは、地形、地質条件、森林土壌の発達など様々な条件が複雑に関わって発揮されるという性質を有しています。

こうした状況を踏まえ、林野庁では既存の知見等を参考にしつつ、この働きを簡易に数値化できる評価手法を作成しました。

また、国際的な情報開示ニーズの高まりを踏まえ、英語版も併せて作成しました。なお、本手法はTNFD事務局に情報提供済みです。

この手法が、より多くの主体による森林づくりの促進と、水資源の持続的な保全に寄与することを期待します。

▽詳細はこちら

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/suigen/suigen/260311.html>

【11】水源の森百選ウェブサイトのリニューアルを行いました！

豊かで良質な水の源泉であり、快適な環境を形成している水源の森については、国民一人一人の理解の下にその保全・整備を推進し、世代を超えて継承していくことが重要です。

このため、林野庁では、水源の森の重要性に対する国民の関心を高めることを目的として、我が国を代表的する水源の森を選定・公表し、平成7年に「水源の森百選」を取りまとめました。

今般、「水源の森百選」取りまとめから30年の節目を迎えるに当たり、水源の森の重要性を改めて発信し、森林の水源涵養機能に対する国民の理解と関心をより一層深めることを目的として、水源の森ウェブサイトのリニューアルを行いました。

新たなウェブサイトでは、森林、溪谷、滝、ダム等の美しい写真に加え、水源の森に関連する外部リンクを掲載することにより、情報の幅を拡充しました。

さらに、地図情報を追加することで、水源の森をより身近に感じ、親しんでいただけるものとなることを期待しています。

▽水源の森百選ウェブサイトはこちら

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/suigen/hyakusen/index.html>

【12】第48回「全日本中学生水の作文コンクール」の募集中です！

内閣官房水循環政策本部では、中学生を対象に、「水」について理解を深め、考える機会とする「全日本中学生水の作文コンクール」を実施しています。

現在、第48回（令和8年度）の作文を募集中です！

「水」とは、みなさんにとってどんな存在ですか？

暮らしの中での体験や、授業などで学んだこと、調べたこと・・・

中学生の皆さんにとって、大切な「水」への思いをつづってみませんか？

最優秀賞及び優秀賞の受賞者には、7月31日（金）に東京都内で行う「水の日」記念行事「水を考えるつどい」の表彰式において、賞状等が授与される予定です。

また、副賞として、ダム等を管理する事務所等において、管内巡視など「一日事務所長」を体験していただく予定です。

今回は参加賞として応募者全員に募集ポスターと同様のデザインのクリアファイルを贈呈します。是非ご応募下さい！

▽詳細、募集ポスター画像はこちら

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000010.html

▽第47回（令和7年度）の最優秀作品の朗読はこちら

<https://youtu.be/Dy3ys9OWTnE>

<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/content/001846297.pdf>

【13】水循環に関するパネル・映像展示セットが全国を巡回！（令和8年度）

水循環について楽しく学べるパネル・映像展示セット「めぐる水を考えよう！」が令和8年度も全国各地で展示されます！

水循環政策本部事務局では、広く国民に健全な水循環に関する普及啓発を行うため、東京学芸大学の吉富友恭教授にご協力いただき、水循環について楽しく簡単に学べるパネル・映像展示セット「めぐる水を考えよう！」を作成し、全国各地での巡回展示を実施しています。

